



補習校だより

平成29年度 第16号

平成29年8月26日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

夏の天体ショー～部分日食が見えた！

アメリカでは99年ぶりになる皆既日食を見ることができ、しかも大陸を横断したため、月曜日（8/21）には全米各地が熱狂していました。マイアミでは皆既日食こそ見られなかったけれど、部分日食を見ることはできました。

辺りがいつもより暗くなってきて、私も見てみようかと外へ出ました。久しぶりに（日本で2009年に見たことがあります。）部分日食を観測することができ、宇宙への思いを馳せる束の間の時間を楽しむことができました。我が子と一緒に家から出てきた隣人もいましたし、ピンホールを使って投影している人もいました。子どもに日食を見せたい、そして自分も一緒に見てみたいと思っていらっしまったのでしょうか。補習校のみんなは、そして保護者の皆様はいかがだったのでしょうか？見ることができたのでしょうか？



【部分日食】

子ども達の理科離れが指摘され始めて久しいのですが、子どもの「どうして？何で？」に大人が面倒がらずに向き合うことで、子どもの好奇心が育ちます。科学的なことは「難しい」「無理だ」と最初から決めつけしないで、調べてみても分からないことは、「分からない」と答え、こちらから進んで“見てみよう、やってみよう”という構えを持つことが子ども達にも刺激になります。今回の皆既日食・部分日食は、天体の不思議な現象に触れ、「どうして太陽が欠けるのだろうか？」と興味を持ち、自然現象を初めとする科学的な事柄に興味を覚えた“未来の科学者”がたくさん誕生したに違いありません。

理科の学習だけでなく、他の教科の学習でも同じです。親と子が共に興味を持って“勉強を楽しむ”ことが子どもの意欲を引き出すことにつながります。お子さんと一緒に、学習することを楽しんで下さい。

いま、何時？

算数学習の中に「時刻と時間」という学習があります。学習指導要領では“量と測定”の類に属し、小学校3年生まで学習することになっています。これが、なかなか難しいのです。時刻を読み、時間の単



【「えっと、8時にするには…」小1】位を覚え、時間の計算まで習得しなければなりません。もちろん時間については、日常生活との関連を大切にしながら学習することが大切なので、授業では時計の模型を使って学びます。しかし学習時間は少ししかありません。定着させるためには日常生活の中で見慣れさせておくことが大切です。できればアナログの時計をご家庭で準備し慣れさせていただければと思います。「いま、何時？」と。